

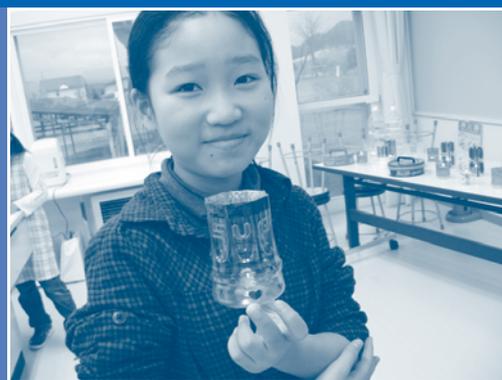
平成20年度文部科学省委託事業

総合的な放課後対策推進のための調査研究

環境にやさしいライフスタイルの実現に向けた体験プログラム実施モデル事業

エコ体験プログラム

運営の手引き



「エコ + アソビ」で体験できるもの

深刻化する環境問題の解決に向けて、国民の一人ひとりが、環境にやさしいライフスタイルを実現することが重要となっています。地球温暖化現象に伴うエコ活動の推進や「MOTTAINA | もったいない」運動の展開など、様々な活動が活発になっています。2008年6月に開催された、洞爺湖サミットのテーマも環境問題でした。

私たちレクリエーション協会は、アソビを通して子どもたちと一緒に環境について考える機会を提供し、また家族ぐるみで気づいてもらう、感じてもらうためにエコ活動とアソビを「エコアソビ」として、全国の放課後子ども教室等で実施しました。

あそびながら、資源の大切さ、リサイクルの重要性など身近な素材をもとに体験することができたとともに、家庭でもエコに対する意識が向上していることが伺えます。

また、一番のポイントは、運営する側のスタッフの意識が格段に変わったことです。運営側のやりがい・楽しみが高く、スタッフ自身の意識改革となっています。

ちょっとした工夫でいくらでも取り組むことができる「エコアソビ」。子どもたちの楽しんでいる姿を想像してみるとともに、是非とも皆さんの現場で取り組んでみませんか？

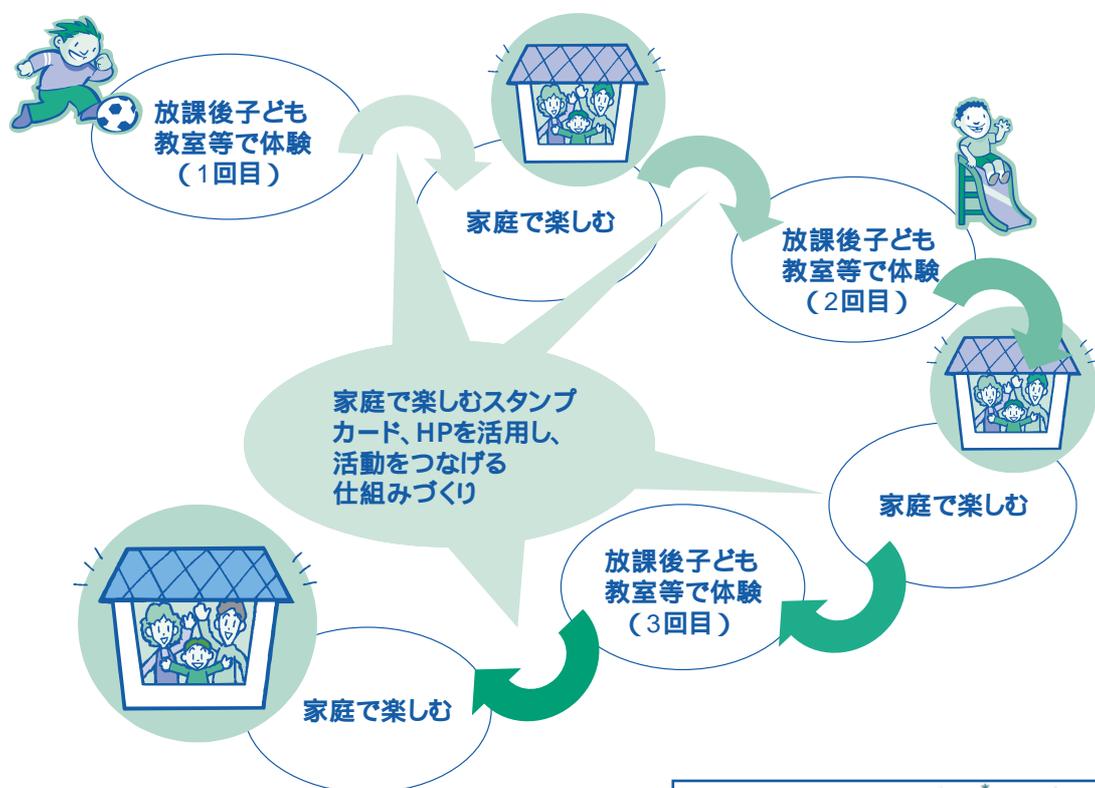


「エコアソビ」の実施ポイント

エコアソビは、楽しみながらエコを実感したり、体験できるようなプログラムを計画・実施します。それぞれの教室で取り組みやすいプログラムをスタッフの皆さんで検討していただき、実際の現場で展開可能かを検証していただきます。

事業実施のポイントとなる点は、放課後子ども教室等と家庭をつなげる仕組みづくりです。メニュー・プログラムをおこなうとともに、それらを展開する仕組みについて、実際に取組ながら検討していただきます。

展開ツールとして今回ご提案しているのは、「エコあそびスタンプカード」「ホームページでの活動紹介」です。これらを活用していただくと共に、各地区で様々なオリジナルな取り組みを実施してみてください。



ホームページアドレス

http://outdoor.geocities.jp:80/eco_asobi/eco.html

ごみ・資源物の出し方をカードで体験／平面キューブで体験

長野県松本市田川地区あそびの城



松本市の
ごみの分け方を
学習しよう!!!

子どもたちが主体的に関わり、創造性を発揮することは？

**ゴミの分別を
考えること**

環境問題に対して
つながりがあることは？

**ごみの分別の仕方をゲームを通して理解することができ、
ごみの問題に関心を持つようになる**

**家庭でのゴミが、
削減できる**

家庭生活につながりがあることは？

家庭で平面キューブを楽しむことで、ごみの分別の仕方が理解できる

ごみの出し方が理解できお母さんのお手伝いができるようになる

<プログラム>

第1回

スタッフがごみのカードを作り、分け方・出し方をあそびとして体験する

その後、家庭生活では・・・

ごみの分別の仕方を話し合う

第2回

ごみ分別の平面キューブづくり

その後、家庭生活では・・・

平面キューブを持ち帰り家族で遊ぶ

第3回

平面キューブ大会

資源物の分け方・出し方について話し合う

その後、家庭生活では・・・

平面キューブで遊びながら、ごみの問題について話し合う



エコポイントの活用

平面キューブで遊ぶごとに
1ポイント



キッズクラブで たのしくエコプログラム

NPO Wood craft 中沢小学校放課後キッズクラブ(神奈川県)



リサイクルの楽しさを体験することにより、
ものを大切にすることを学ぶ
また、別の生活に役立つものを生み出す

子どもたちが主体的に
関わり、創造性を発揮する
ことは？

自分でつくったものをきれい
に見せる
オリジナルの作品を作成する

環境問題に対して
つながりがあることは？

資源ごみを利用して、再度生
活に役立つようにする

家庭生活につながりが
あることは？

家庭でも、すぐ捨てるの
ではなく、リサイクルす
る行動をとれるきっかけ
づくりとする
家庭内で環境チェックを
し、エコについて
見直す



<プログラム>

第1回

エコに対して意識付け

紙について(どうやって紙になる)かを考えてみる
簡単工作(広告用紙を使用した工作) - 紙さぶとん
家庭生活では・・・

(事前) 家庭の環境実践度チェック
家庭で話し合ってみて見直してきてもらう、
広告用紙を集める
(事後) 簡単工作を仕上げる

第2回

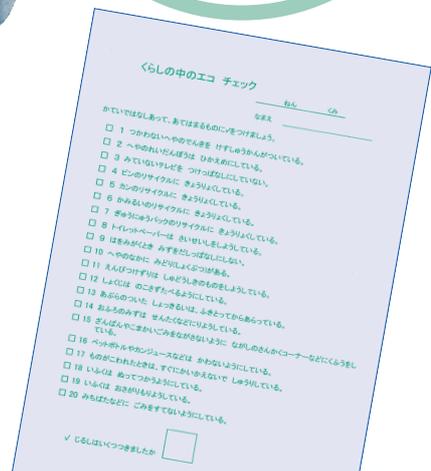
牛乳パックを使用してクリスマスツリーを作成する
家庭生活では・・・

広告用紙を使って物入れを作成する
実際に使ってみる

第3回

考えてきた設計図で牛乳パックを使いフリーに工作をつくる
発表会
家庭生活では・・・

**(事前) 牛乳パックを使用した工作、
何をつくるか考えてくる、設計図作成**



エコポイントの活用

資源ごみの利用(リサイクル)を
考えたら1ポイント実査に作品
をつくったら3ポイント
家庭の環境を見直し、具体的に
行動する(具体的行動1つで)
1ポイント

プログラムを検討するステップ(手順)

◇ Step 1 メニューのアイデアリストづくり



- エコアソビに該当するであろう、様々な遊びや、素材などのアイデアをたくさん出します
- アイデアについて特に議論は行いません、思いつくものをたくさん出だします。
- カードワークなどの技法を活用しても良いでしょう

◇ Step 2 アイデア集約



- 体験させる子どもたちの現状や、環境なども考えましょう。
- 3～5点程度に絞ると良いでしょう
- 類似するアイデアをまとめ、グループ化してみるのも良いでしょう



◇ Step 3 アイデア決定

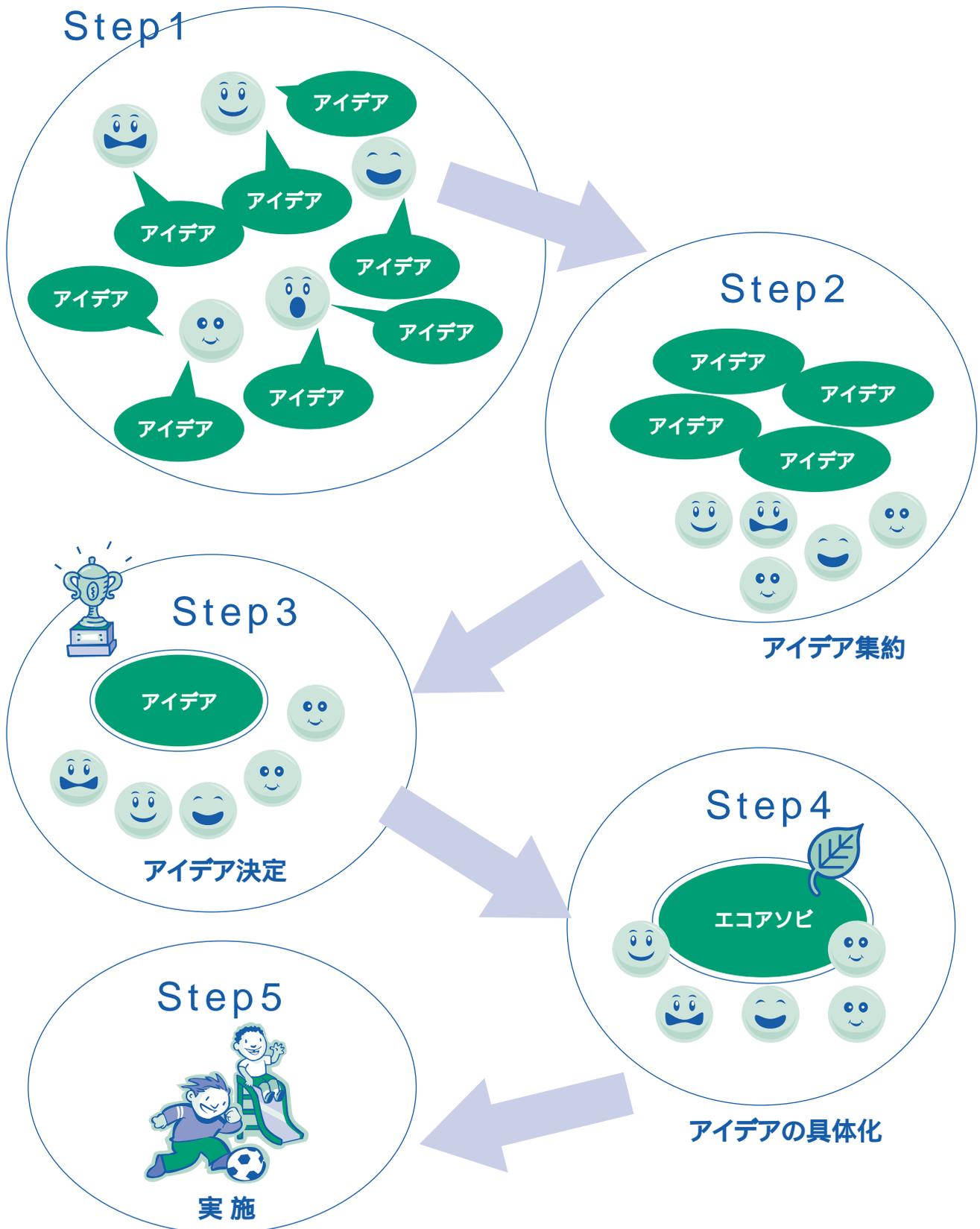


- 集約したアイデアの中から、最も効果的に実施可能と思われるアイデアを選択します
- 実施のイメージが描きやすいアイデアや成功しやすいアイデアを選択することも重要です。初回から高度なプログラムを展開するより、2回目、3回目で徐々にレベルアップするような展開イメージを持つことも良いでしょう

◇ Step 4 メニューの具体化

- 選択したアイデアを具体的に展開するプログラムを計画します
- 1回目のみ計画も可能です

アイデアリストづくり



気楽な取り組みからエコアソビがスタート

最初から最後まで流れを固めたプログラムを実施するより、子どもたちの反応を確かめながら実施してみませんか？

私たちが考えるエコアソビは、失敗したって気にしません

● こんな風に取り組んでみました

- 1 複数のスタッフでプログラムを実施
- 2 希望者、学年指定、全員で楽しむ、など1区画のプログラムとして実施もOK。それぞれの現場に合わせたプログラム提供方法で実施
- 3 導入、終了時に心ほぐし、体ほぐしメニューを実施することにより、スムーズな運営が可能となりました
- 4 第1回目終了後、スタッフミーティングを開催し、成功点、失敗点を共有。また、次回に向けた作戦を検討
- 5 1回実施したのち、計画のやり直しや軌道修正もOK
- 6 連続した3回のプログラム実施を目標として実施しましたが、日程が固定したイベント・行事などがある場合、可能な範囲で対応OK



■ 発行

財団法人 日本レクリエーション協会

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-7 水道橋西口会館6階

TEL : 03-3265-1856

TEL : 03-3265-1253

e-mail : ecoasobi@recreation.or.jp